

発行 藤沢地区郷土づくり推進会議
事務局 藤沢公民館(☎0466-22-0019)

藤沢地区郷土づくり推進会議 検索



明日を創る

ご挨拶 藤沢地区郷土づくり推進会議 議長 廣瀬 宣昭

地域の皆様には日頃より藤沢地区郷土づくり推進会議(以下「推進会議」という。)の活動に、ご支援ご協力いただきありがとうございます。

この度、2024年1月1日に能登半島で甚大な被害をもたらした大きな地震災害が起き、多数の方々がお亡くなりになりました。心より哀悼の意を表します。また罹災された方々には心からお見舞い申し上げます。

私たち推進会議は、地域の皆様が主体となり自分たちのまちは自分たちで創っていくという理念をもち、自分のまちに愛着をもち、一生安心して住み続けたい「まちづくり」を目指し、これからも活動していきたいと思っております。地域の皆様の力強いご支援ご協力をよろしくお願い致します。

藤沢地区全体集会の報告

2023年12月9日に「藤沢地区全体集会」が F プレイスで開催され、推進会議が行った今年度の活動実績について、①推進部会、②活動部会、③活動部会と共に活動したコミュニティソーシャルワーカー(以下「CSW」という。)から、3事業の報告が行われ、その後、会場の皆さんとの意見交換や質疑が行われました。

高野推進部会長は、「藤沢宿を知ろう、守ろう、伝えよう」のテーマで、石井活動部会長は「子ども・高齢者の見守り活動」について、CSW 活動は藤沢地区担当CSWの伊藤さんから「地域の相談支援」について報告がありました。



<意見交換・質疑・アンケートの内容について>

住みやすい環境づくりについての意見が多く出されました。交通渋滞問題、高齢者の徘徊対策、道路の雑草除去、町内会員の減少問題など、郷土づくり推進会議のテーマ以外の質疑が多く出されました。

それぞれの問題点については、会場の参加者から各町内会自治会で試行している事例を語っていただき、有意義な意見交換ができました。

来場者アンケートでは、推進会議が歴史と文化を大切に守り育てている様子を知り有意義であったとの記述もありました。

東京都中野区 視察研修

2023年11月14日に、7名の参加者で東京都中野区を視察しました。今回の研修内容は、中野区民が中心となって作成している「なかのユニバーサルデザインマップ」について、講座・イベントの企画運営を行っている「なかの生涯学習サポーターの会」から説明を受けました。

「なかのユニバーサルデザインマップ」の特徴は、障がいのある方や高齢者や外国人などダイバーシティを意識して、区民が暮らしやすく、活動しやすい環境がマップ上に整えられていることです。

具体的にトイレの例ですが、一般トイレと車イス使用者トイレの併設、ベビーチェア、おむつ替えシート、オストメイト対応トイレ等が表示されています。毎年区民が車イスを使用して実際にトイレに行き、その使い勝手や改善に努めているそうです。また、駅に隣接のバス乗り場、区内の公園、散歩コース、観光スポットなど全てに QR コードがついており、区内を楽しく周遊することができます。

これらのマップ作成では、なかの生涯学習サポーターの会がメンバーを募集し、積極的な活動と相まって予算面も含め、中野区に働きかけをしています。地域の人を誰一人取り残さないSDGsを感じさせる大変有意義な視察研修でした。



令和5年度活動報告 推進部会 部長 高野 文夫

政策提言「藤沢宿活性化ビジョン“6つの提言”」(2022年3月30日提出、市長からの回答2022年9月15日)の実現に向けて、提言課題の担当所管課との意見交換を行ってきましたが、実現に至っていません。藤沢宿「見える化」のまとめの「政策提言」であり、皆さんと一緒に実現させましょう。

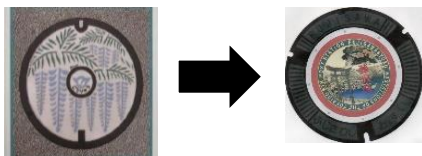
「提言」内容と市からの回答は、「明日を創る」17号、18号、または推進会議のポータルサイトにてご覧いただけます。

「政策提言」のコンセプト

<藤沢宿づくりの実現>

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 藤沢宿歴史文化資源の保全と適切な活用 | 4 藤沢宿エリア可視化と周遊性の向上 |
| 2 地域住民の郷土愛の醸成・継承 | 5 XRなどの先端技術を活用した藤沢宿のPR |
| 3 後世に繋ぐ藤沢宿の伝承 | 6 藤沢宿を活用した賑わいの創出 |

〈提言1〉「デザインマンホール蓋」の設置
藤沢宿管内の下水道マンホール蓋に藤沢宿を醸すデザイン蓋を設置し、藤沢宿を学ぶ散策者への話題提供、「藤沢市下水道事業」の情報発信の一つの取組案として提言。



藤沢宿イメージのマンホール蓋の設置

〈提言2〉「藤沢橋自動車排出ガス測定局」周辺の敷地を活用した散策者誘導策の検討
「江の島一の鳥居」「藤沢宿の中心」であった場所で、設置されている道標の有効活用、簡易ベンチ設置など藤沢宿散策者誘導策の提言。



緑地帯にベンチ設置

〈提言3〉「歩道景観」への取組
旧藤沢宿街道であった藤沢橋～
白旗間の県道の景観づくりの
提言。



歩道景観

〈提言4〉「藤沢宿案内看板」の
設置

藤沢本町駅前に散策者向け
「藤沢宿案内看板」の設置の提言。



案内看板

〈提言5〉「旧桔梗屋」建物の
利活用検討

「藤沢宿を語る館」として機能付
けた利活用の検討提言。



旧桔梗屋建物利活用

〈提言6〉「藤沢宿を知ろう、守ろう、伝えよう」の提起
先ず地元の人に「藤沢宿を学んで貰おう」という取組提言。

◆公民館主催事業「高齢者学級」藤沢宿を学ぶ活動
お寺のご住職からの講話を頂いたことや地域の史跡巡り
など、地域の歴史に触れられて大変良かった。(参加者)



◆歴史・文化資源を学ぶ活動
約90基の「トランスボックス」巡りで地区学び。



昔の様子が学べます QRコードから浮世絵 町内会での学び活動

◆「PT(プロジェクトチーム)」取組活動
「政策提言」の実現に向けて様々な勉強会を
実施しています。



東部西部自治連総会での取組要請

小田原宿の取組勉強会

◆進んでいます「政策提案」課題
提案してきた「政策提言」課題や整備事業が
進んでいます。



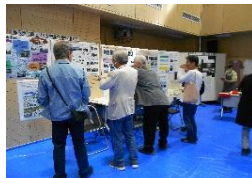
本町出張所消防仮庁舎

石川線車歩道整備

南仲通り街路樹整備



市下水道事業の勉強会



「公民館まつり」掲示活動



朝日町歩道拡幅



藤沢宿「風景印」二郵便局で押印



令和5年度活動報告 活動部会 部会長 石井 昇

(1) 第2回 大清水中学校 認知症VR体験会の実施

昨年引き続き、2024年2月21日に認知症VR体験会をCSWの講座も取り入れ開催しました。

全体での講義



VRでの体験



CSWの講義資料



(2) 認知症サポーター養成講座の実施

2023年8月17日に、委員を対象とした認知症サポーター養成講座を開催しました。
藤沢地区 CSW の伊藤様と藤沢西部いきいきサポートセンター様の協力をいただきました。



(3) 公民館まつり参加協力

2023年10月14日～15日開催の公民館まつりに参加協力いたしました。
2日目は雨の為、場所を変えての販売となりましたが、売り上げは好調で2日間共ほぼ完売となりました。



1日目の様子



2日目の様子

(4) 藤沢地区安全マップ作成

今回作成したマップは、学校関係を赤で表示し、子どもに関わる防犯情報を左上に表で掲載しました。(東部地区・西部地区の学校・幼稚園・保育園・放課後児童クラブ等の64箇所)に配付
公民館まつりにおいて、展示物(安全マップと見守り事業)の掲示をしました。



(5) CSW との連携

全体集会では、活動部会の説明を行うとともに、今回はCSWについて説明の機会も設けました。

CSW 活動報告 藤沢地区担当・伊藤 久乃

CSW は、既存の制度だけでは解決できない困りごとに幅広く対応する福祉の相談員です。相談者のお話をじっくりとお聴きして、困りごとを整理しながら、適切な機関や人とつないだり、地域の力を借りながら、その人らしい生活を送れるように支援していきます。

また、誰もが安心して暮らせる地域づくりを地域の皆様と共に進めることも CSW の役割です。「地域でこのような活動を始めたい」といったご相談もお受けしています。CSW へ寄せられるご相談は、制度の狭間であったり、複数の困りごとが重なっていて、すぐに解決することの方が少ないですが、相談者の方と共に考え、伴走者となることを大切にしています。どうぞお気軽にご連絡ください。

社会福祉法人 藤沢市社会福祉協議会 電話:0466-47-8131
(月～金 8:30～17:00)